

情報システム工学実験第3

第3章 パッケージのインストールとパッチ

2002年10月15日

グループ3

1

実験の目的

- Main server から Solaris用のソフトウェアをFtpで取得し、インストールする

2

FTP(File Transfer Protocol)(1)

- ネットワーク上のクライアントとホストコンピュータ間のファイル転送するためのプロトコル・コマンド
- Ftpの使用には、基本的にホスト側に自分のアカウントが必要
- Internet上のftpサイトでは、誰でもftpを使用できるようにしたanonymous ftpと呼ばれるサイトがある

3

FTP(File Transfer Protocol)(2)

- FTPのファイル転送モードには、ASCIIモードとBinaryモードの2種類がある
- ASCIIモードは、基本的にテキストファイルを転送するためのもの
- Binaryモードはディスクのイメージをそのまま転送するためのもの

4

ユーザのアクセス制限

- Chmodコマンドを使用し保護モードを変更
- モードを指定する方法にはシンボリックモードとオクタルモードがある
- 次のようなコマンドで実行します
`% chmod [モード] [ファイル名]`

5

シンボリックモード

- それぞれ次の記号が割り当てられています

対象ユーザ	U(所有者),g(グループ),o(その他),a(全て)
操作	+(追加),-(削除),=(設定)
保護モード	R(読み出し),w(書きこみ),x(実行)

6

オクタルモード

- これは8進数によるモードの指定方法です（2進数の表記では、属性許可状態は1、禁止の状態は0）

例 rwx|rw-|r--
111|110|100 (2進数表記)
7 6 4 (8進数表記)

7

ソフトウェアの圧縮

- 一定のアルゴリズムにしたがってデータの容量を小さくすること
- ファイル転送や保存の際、アーカイバと呼ばれる専用のプログラムを使ってデータファイルの容量を小さくすること

8

アーカイブ

- ファイルの整理や保管のために複数のファイルをひとつにまとめること
- ファイルをまとめる際にデータ圧縮も行なうため、ファイルの圧縮、および圧縮したファイルを指す場合が多い
- この作業に使うプログラムをアーカイバ (archiver) と呼ぶ

9

解凍

- 圧縮されているファイルを元の状態に戻すこと
- 展開、伸長ともいう

10

環境変数

- アプリケーションプログラムやバッチプログラムに対して、ユーザーが設定する変数

11

実際の使い方(1)

- OSのインストールを行っただけの状態では全てのサービスが利用できない
- 例えばSolaris2.6をインストールしただけではwwwサーバとして用いれない
- サービスを提供するために各種ソフトウェアのインストールが必要

12

実際の使われ方(2)

- バージョンアップや環境・目的に合わせた設定の変更が必要

13

作業内容

- Ftpによるpackageの取得
- Pkgaddコマンドの実行
- Gzipコマンドのインストール
- Gcc(C・C++のコンパイラ)バージョンの確認

14